

館山日東バス千倉線（館山駅～安房地域医療センター～千倉平館）の運行について

○これまでの経緯

- ・平成 26 年 9 月：館山日東バス 千葉県バス対策協議会に路線廃止を申し出る
- ※国・県の補助を受けるための要件（平均乗車密度）を満たさなくなったため。
- ・平成 27 年 7 月：館山市地域公共交通会議で協議した結果「国・県の補助要件を満たすことを目標に、3 年間は運行を継続する」こととなる。
- ※3 年間→平成 27 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日
- ・その後、千葉県バス対策協議会での協議等を経て、平成 27 年 10 月 1 日からはそれまでの 6 往復を 5 往復に減便の上、館山市・南房総市による補助を受けて運行することとなった。
- 前回の会議でもご案内したとおり、この 10 月には「千倉線をどうするか」ということについて、結論を出す必要がある。

○千倉線に関する館山市の考え方について

- ・「この 10 月で結論を出さず、当面運行を継続する。その中で、館山市が策定する地域公共交通網形成計画の内容や、別途検討を始めている路線再編の内容により、運行形態の見直しを行っていく」
- 館山市地域公共交通網形成計画の策定に当たっては、詳細なニーズ把握を行い、千倉線以外の路線・エリアも含め総合的に公共交通網を検討していくこととしているため、10 月に急いで結論を出すのではなく、計画の方向性がはっきりした段階でどのようにしていくかを検討していくこととしたい。
- 加えて、館山日東バス及び南房総市と路線の再編について検討を始めているため、千倉線についても、同じテーブルで路線のあり方について検討し、利用者のニーズにより合致したものとしていきたい。

○参考：千倉線の運行実績

- ・平成 29 年度経常収益：5,608 千円（前年度比 102.1%）
- ・平成 29 年度経常費用：11,074 千円（前年度比 100.2%）
- ・平成 29 年度経常損失：5,466 千円（前年度比 98.3%）
- 収支率（経常収益÷経常費用）は、50.6%
- ※館山市・南房総市が補助を行い運行している 3 路線（千倉線、豊房線、丸・平群線）の中で、唯一収益が増加し、かつ収支率（収入で費用をカバーしている割合）が最も高い路線である。